

科 目 名

哲学的人間観 What is Man?

1年 後期 2単位 選択

広 川 明

概 要

人生にはめぐりあわせというものがあって、これは人間の力ではどうすることもできない。あとで考えてみれば、あの時の不運な出来事をきっかけとして、自分の人生は予想もしない方向へ進んでしまったということもあろう。めぐりあわせ（運命）は、幸不幸を左右する力をもつものなのである。

ただそのような中であっても、何に価値を見だし、どのように生きるかはわれわれの自由である。意味ある生を選びとることは各人にゆだねられた課題であるともいえよう。

この授業では、運命と生きがい（生きる意味）の二つをテーマとしたい。前半で運命と幸福のかかわりを論じ、後半では生きがいの問題をあつかうこととする。

目 標

自分を見つめ、自分の生き方について自覚的に問い直す態度を身につけること。

授業計画

- ① めぐりあわせと運命論
- ② 人間の力が及ぶものと及ばないもの
- ③ 平凡な不幸：生まれつきをめぐって
- ④ 理不尽な現実
- ⑤ 幸運と恵み
- ⑥ 運命と幸福
- ⑦ 運命を超えて
- ⑧ 生きがい（生きる意味）の喪失
- ⑨ ものを所有することは人間を幸福にするか
- ⑩ もつこと（所有）とあること
- ⑪ 生きがいと自己実現
- ⑫ 自己実現への道
- ⑬ アイデンティティの探求
- ⑭ 自分とは何者か

授業方法

通常の講義のほかに、授業中に小レポート（数回）を実施する。また、授業計画に応じたビデオを視聴する予定である。

授業到達度の評価

- ① 授業中（あるいは授業終了後）に時間を設けて質問を受ける。質問がない場合は、教員より学生に質問して、理解度を確認する。
- ② 授業が数回進んだところでアンケートをとり、理解度や授業の難易度をチェックする。また、分からない点なども指摘してもらう。

評価方法

授業中に実施する小レポート（25%）、定期試験（75%）により総合的に評価する。

教 材

教科書：使用しない。

参考書：神谷美恵子『生きがいについて』（みすず書房）

E. フロム『生きるということ』（佐野哲郎 訳、紀伊国屋書店）

他の参考書は授業中に紹介する。